



KARIBIB の回想



2023 年度 1 次隊/数学教育/渡辺 崇人

2025 年 7 月 15 日 Vol. 31



写真 1：開会の挨拶

そうなんです。去年は写真係も兼ねていたため、ステージに近い席を陣取ることができたのですが、今年は同僚に売店での販売を手伝って欲しいと頼まれ、会場の後ろで店を構えることになりました(写真2)。商品は飲料やお菓子、また直前に同僚と一緒に作ったホットドックです。そもそもこのイベントは学校への寄付を集める目的もあり、入場料や売店での売上が学内の活動資金となります。というわけで、できる限り売上を上げなければいけないのですが、これが素晴らしいことに開店からずっと入れ食い状態で、何もせずとも飛ぶように売れていきました。その凄まじさは、色々工夫を凝らしても鳴かず飛ばずだった日本食販売時とは大違いで(Vol.24、[世界日記#12](#))、その光景にずっと目を丸くしていました(°Д°)。



写真 3：登壇者の自己紹介の様子

2024 年 10 月初旬に日を跨ぐイベント“MISS KJSS”、校内のミスコンが開催されました。2023 年は軽い気持ちで参加したところ、想像以上に体力と気力を使い、それはそれは過酷なイベントだったことは忘れもしません([Vol.15](#) 参照)。

ということで、今年はイベント前日に十分な睡眠をとり、参加しました。今年も去年同様、夕方 5 時のスタート予定が 7 時 30 分となり、序盤から午前 1 時終了が確定する演出がありました(写真1)。ただ、Vol.15 より写真が少し遠い(´・ω・`)??



写真 2：売店での販売

さて、肝心のイベントですがあまりにも長丁場であるため、その乗り越え方に関するアドバイスによると「“推し(特に応援したい人)”を作れば、時間を短く感じられるよ。」とのこと。というわけで登壇者から探してみると、なんと日本語クラスの生徒が一人参加しているではありませんか(写真3)。

後日、本人に聞くと恥ずかしかったため当日まで黙っていたそう。そのため、営業の傍ら、登壇者全員に声援を送りつつも、特にその生徒を応援しながら見守っていました。



写真4：何度もお色直しして登場する様子

流れはほぼ去年同様で、白を基調としたものや民族衣装、自作ドレスやピンクを基調としたもの（写真4）等、登場回ごとのテーマに沿った装いで、結婚式の比にならない程のお色直しをして登壇し、会場を沸かせます。毎度のことながらものすご〜く驚きますが、時刻が0時を回りこちらがどれだけたびれていても、衣装と音楽が変わる度に客席からは溢れんばかりの歓声。彼らのエネルギーの源と声帯の在り処を是非とも知りたいと思いました！



写真5：2nd PRINCESS



写真6：入賞者の集合写真

さてイベントもいよいよ終盤、ドキドキの入賞者発表の瞬間です。そしたらなんと...自分の推しが2nd PRINCESSに選ばれました（写真5）！！すごいです。この快挙に、本人より喜んでいました。なお、発表中はこちらから手を振ってもスルーされたのに「入賞したお祝いに何か買ってあげるよ。」と言った所、なぜか帰るまで一緒に行動することに。。その切り替えの早さもさすがですね～。ただここも含めて推せるんですよね（笑）。最後に入賞者と司会、審査員の先生方と写真を撮り（写真6）、午前1時を過ぎたところで無事お開きとなりました。肝心の売店の品も完売し、6時間近くに及び長丁場を乗り切りましたが、今年は売り子をやっていたのと推しを作っていたおかげで体感時間は去年ほどではありませんでした。派遣期間中に参加できる最後のミスコンに参加し、学校では見られない普段とは



写真7：片付けの様子

違った姿を見ることができてよかったです。

ただ、皆が帰った後の会場はゴミが散乱しています。そんな中、写真7のように夜中1時過ぎにも関わらず手伝ってくれる生徒のお陰でなんとか最後の撤収まで終わることができます。これは Vol.15 でも記載しましたが、表舞台で活躍する生徒と同じくらい、こういった生徒にももっとスポットが当たれるようになってほしいと思います。

彼らには粗品と共に深くお礼を伝えて、会場を後にしました。

AFRICAN SAFARI

Vol.4



Vol.1～3に渡って、BIG5（アフリカの5大動物）のうち4種類を紹介しました。まだ紹介していない残りの1種類に《レオパード（豹）》がいますが、残念ながら野生でその姿を確認することはできませんでした。ということで写真がございません…。野生の姿を目にした JICA ボランティアも勿論おり、彼ら曰く、レオパードは木登りが得意で、獲物を木に隠す習性があるため、木の上で発見されることが多いとのこと。見たことがある人は羨ましいです(◡_◡)。ということで本日は別の動物をご紹介します。

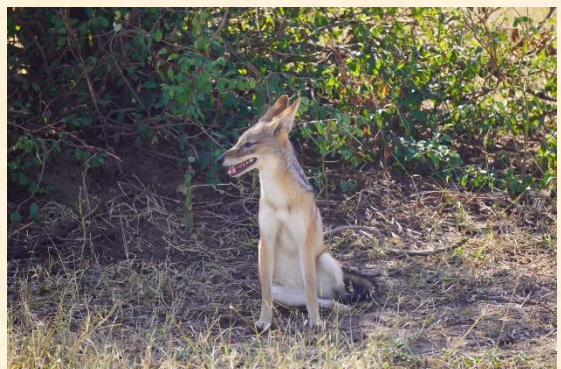
《シマウマ》

こちらはお馴染みの動物ですね。写真のシマウマはサバンナシマウマといい、サハラ以南のアフリカを主な生息地とする種で、子どもが母乳を飲んでいるシーンです。視界が悪く、捕食者から逃げづらいことから森にはあまり入らず、開けた草原地帯や水場を好み、群れで生活します。人間の指紋同様、縞模様はすべての個体で異なるそうです。



《ジャッカル》

レオパードはネコ科ですが、こちらはイヌ科の動物です。写真からは分かりづらいですが、この種は背中が黒いことからセグロ（背黒）ジャッカルと呼ばれ、開けた土地と隠れる場所があるバランスの取れた環境を好みます。巣穴は自分で掘るより、他の動物が掘ったものを利用することが多いです。基本的には夜行性であるため、昼間に見ることができたのはツイていました。



2025年7月20日～8月31日までの日程でカナガワビエンナーレ国際児童画展の入賞作品の展示が行われます。会場等の詳細は [世界日記#22](#) をご覧ください♪

次回：日本語クラスの1年間の集大成、日本語クラス進級試験の様子をお伝えします！